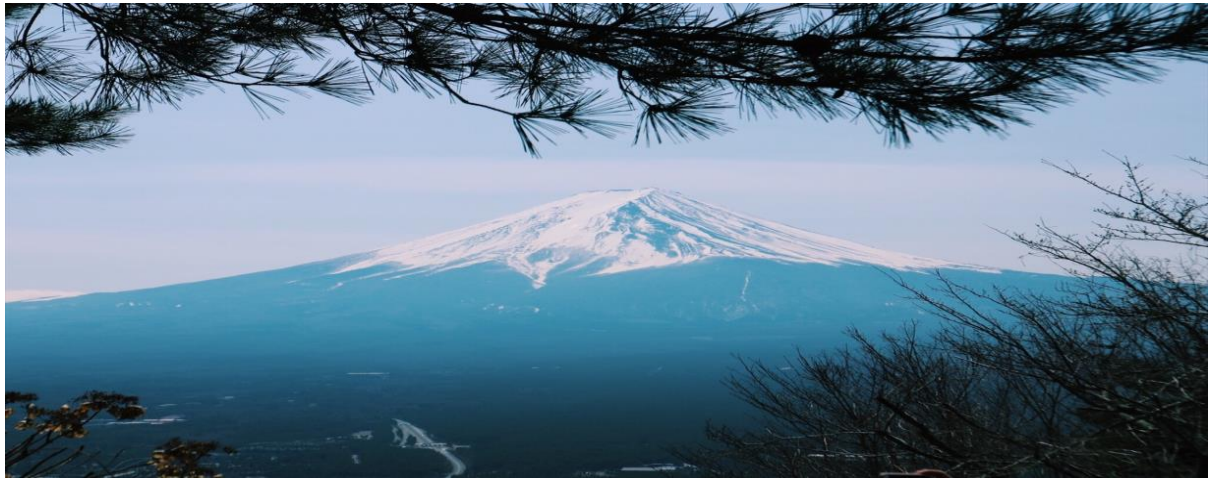


## 春合宿の感想

ディープラサート・ベンチャーパー



今回のキャンパス・アジアプログラム10月生の春合宿は山梨県を訪問しました。今回の合宿の行き先が決まってから、ずっと楽しみにしていました。山梨県といえば、やはり富士山です。富士山は古くから日本人にとって心の故郷と言われ、絵画、文学、演劇の舞台となり、現在に至るまで多くの芸術作品を生み出しています。富士山は日本人にはもちろん、外国人にも愛されている山です。しかし、富士山は気まぐれの美人に喩えられ、気分により、美しさを放ったり隠したりするようです。「きれいに見えるかな」という気持ちが与えられるからこそ、日本人はもちろん、各国の観光客も絶えずに訪れてくるだろうと思います。私は「この二日間は晴れますように！」と毎日祈っていました。嬉しいことに、この二日間は富士山の素晴らしい景色が堪能できました。やはり近くから眺める富士山は、いつも寮から見える景色とは違いました。

上の写真は、1日目のロープウェイで撮った写真です。松の木と富士山が相まった和の雰囲気漂う写真です。留学に来て半年になりましたが、こんなに近くで富士山を眺めるのは初めてです。この二日間は、富士山からパワーをたくさんいただきました。目の前の富士山の美しさに、疲れた心も癒されました。あと残りわずかの学生時代について、将来の進路について、いろいろ悩んでいましたが、今回の合宿のおかげで、これからどんな困難があっても乗り越えていこうという気持ちが湧いてきました。

様々な手続きをしてくださったキム先生と、地理、歴史や文化などについていろいろ説明してくださった椿先生をはじめ、今回の合宿に関わっている皆さんに、心から感謝しています。皆さんのおかげで、とても癒されました。一泊二日間の短い時間でしたが、本当に楽しかったです。今回の合宿に参加して、とても良かったと思います。本当は言いたいことがまだたくさんありますが、自分の気持ちを言葉にするのが苦手なので、気持ちを絞って、これだけ書かせていただきます。あと残り半年の留學生活も頑張りたいと思います。